

第1回 久代小地域 地域別懇談会の概要

日 時：平成23年8月18日（木）

午後7時～9時

場 所：久代会館

参加人数：18名



1 岩崎先生（四日市大学教授）による基調講演

懇談会を始めるにあたって、四日市大学の岩崎先生にお話をうかがった。



- 人口増加を前提とした右肩上がりの時代が終わり、財政的な制約も受ける行政運営にあって、総合計画の作り方を変えていかざるをえない状況に直面している。
- かつて、松戸市の市長であったマツモトキヨシ（現：ドラッグストアチェーンのマツキヨの創業者）は、「すぐやる課」という市民の要望に何でも応じる課を作った。
- その結果、これまで地域がやってきたことが次々と市で対応することとなり、ひいてはその活動を通じて形成されてきたコミュニティも希薄になっていくという悪循環に至った。
- 経済成長を前提とした社会では、どんどん市で対応するというのもやり方としてあったが、これからの時代はそういうわけにはいかない。そこで、「最低限、市が取り組まなければいけないこと」や「地域が主体的に取り組むこと、地域が取り組んだ方が上手くいくと思われること」など仕分けを行う必要がある。
- 一方、地域で取り組むといってもそういう人がいるのか？と言った疑問もあるかもしれないが、以前、私が実施したアンケートでは、いわゆる団塊の世代の10～15%の人が、「定年後は地域で何かをやりたい」と感じていることが分かっている。
- このような方々の能力を地域で活かす仕組みを地域に作っていく必要がある。
- 今回の地域別懇談会では、「地域としての課題は何か」「地域としてどのような活動が行われているのか」「課題解決に向けてどうするべきか（市がやるべきか、地域でやるべきか）」などについて意見交換を行っていただき、地域としてどのようなまちづくりを目指すのかを考えていく機会にしてもらいたい。

2 グループワーク

3班とも、住宅地内における交通問題や地域コミュニティの問題、行政の未利用地の活用のあり方など、幅広い問題・課題が出された。

一方、解決方法としては、交通マナーの啓蒙や挨拶運動など地域住民が少しずつ取り組むことができる意見も出されたが、行政の未利用地の検討などのように行政が主体的に働きかける必要もあるといった意見も出された。

次回以降は、既に取り組みされている地域活動も活かして解決できる方法がないか、と言った視点もいれながら議論を深めていく。

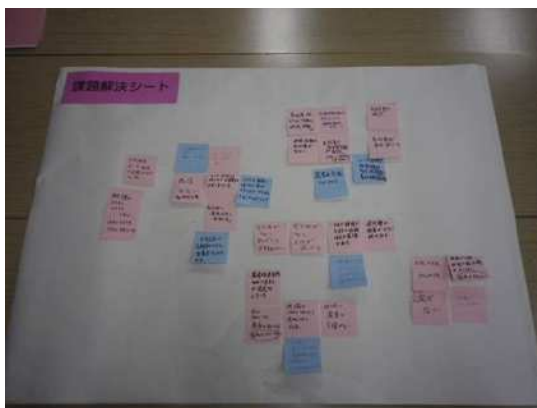
《1班》宮路さん、森さん、高良さん、原さん、木部さん、古川さん

地域の課題	課題解決に向けたアイデアなど
<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事に対する参加が少ない。 ・中年世代の地域活動が少ない。(だから参加が進まない。) ・子どもが参加できる行事が少ない。 ・仕事と自治会役員の活動を両立させるのは大変。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民に対するPRをもっと行う。
<ul style="list-style-type: none"> ・自治会加入者が減少傾向。 ・高齢者のひとり暮らしが増えている。見守りをどうするか。 ・ひとり暮らしの安否確認で、急に入院などされていなくなると連絡が取れなくなり困る。 ・老人介護の問題。 ・認知症の方が地域に増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意識啓発を行う。(どうやって?) ・各自治会の班長や組長で見守りを行う体制をとる。
<ul style="list-style-type: none"> ・買物する場所が近くにないため、高齢者が買物難民になる恐れがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスの運行 ・ボランティアグループとの協力体制を整える。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域で使えるグラウンドや体育館が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市で対応して欲しい
<ul style="list-style-type: none"> ・市と地域の協力体制が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既に活動している組織等に対する支援(助成等)を継続的に行う。
<ul style="list-style-type: none"> ・野良猫が多い。 	-



《2班》西田（博）さん、大槻さん、今西さん、荻野さん、臼井さん、堀さん、岸上さん

地域の課題	課題解決に向けたアイデアなど
<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーが近くにないので買物が不便、お年寄りが困っている。 ・商店がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・買物に行くために市もしくはボランティアで乗り物を出したらどうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域（活動）に参加しにくい高齢者に対してどうするか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自治会単位で、高齢者の集いや食事会を積極的に行う。
<ul style="list-style-type: none"> ・久代小地区、上・下地区の交流がしにくい。 	-
<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動、PTA 活動など様々な活動に対して参加者が減少傾向にある ・各種活動の参加者が同じ人ばかりになる。 ・奉仕者が毎回決まっている。 ・どの活動も参加者の高齢化が進んでいる。 ・自治会員の減少。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若者に色々な活動に関する企画をしてもらう。 ・小中学校の保護者会などを活用して、地域活動のPR や参加を促す。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域に空き地が多く、人口が減っている。 ・空き地が多くまちづくりが進めにくい。 	-
<ul style="list-style-type: none"> ・畑で野焼きをすると地域で苦情がある。 ・飛行機の騒音がひどい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・野焼きの変わりに処分する場所をつくる。
<ul style="list-style-type: none"> ・農産物直売所には来る人が固定化している。 ・地域の産業に対する支援が不足している。 ・田や畑が減り倉庫が多くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・直売所の存在をもっとPR する。 ・魅力ある農産物の生産に取り組む。
<ul style="list-style-type: none"> ・公園が不足している。（久代4丁目） ・地域の子ども、幼児の遊び場が少ない。 	-
<ul style="list-style-type: none"> ・街灯が少ない。（防犯上の不安） 	-



《3班》西田（久）さん、安田さん、桑原さん、高木さん、地頭所さん

地域の課題	課題解決に向けたアイデアなど
<ul style="list-style-type: none"> ・住宅地内の路上駐車（邪魔） ・住宅地内の狭い道路でスピードを出す車が多くて怖い。 ・見通しが悪い交差点あるので標識を設置して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会で見回りをしながら注意する。（マナーの意識啓発） ・警察にも協力をお願いして取り締まる。
<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場が少ない。 	-
<ul style="list-style-type: none"> ・マンションでは隣近所にどんな人がいるかわからない。（顔の知らない関係） ・一人暮らしの高齢者が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会ったらとりあえず挨拶をする。 ・世代間交流の機会を増やし、もっと外に出てきてもらう。
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが遊べる場所がない（公園に遊具がない） 	-
<ul style="list-style-type: none"> ・買物が不便（近くにスーパーがない、お年寄りが休み休み行っている） ・病院が少ない（特に小児科） 	-
<ul style="list-style-type: none"> ・南部地域についてはもっと都市計画を推進する ・国管理の空き地が多い。雑草も酷く、早く有効活用を検討する必要があるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国と市の強い行政指導とスピード化が必要。 ・国と市が協力し積極的に解決方法を検討する。 ・雑草等については、地域で対応できるようにするのもあり。
<ul style="list-style-type: none"> ・緑化事業の充実 ・防災対策の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・国有地の公園化と有効活用、土地の処分 ・防災対策の強化（市、国等の行政指導）
<ul style="list-style-type: none"> ・東久代には会社、工場があり騒音問題などと聞くと聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会を通した話し合いの場を設ける。
<ul style="list-style-type: none"> ・野良猫の糞害など 	<ul style="list-style-type: none"> ・餌付けする人がいるから野良猫が増える。まずは、餌付けしないように注意する。



3 各班の発表概要

1 班

- ・ 「地域の行事への参加率が悪い」、「特に最近は中高年の参加が少ない」といった意見が出ており、PRの必要性などが課題として挙がっていた。
- ・ その他には、他のグループと同様に「買物が不便」、「一人暮らしの高齢者に対するケアをどうするか」などの意見が出ていた。
- ・ また、「市と行政の連携が十分でないのではないか」という意見もあり、「頑張っている地域に対するフォローの仕組みのようなものが必要ではないか」という意見が出ていた。

2 班

- ・ 「近所に買物する場所がない」という意見が多く出ており、「地域か市でバスを借り上げ、買物をするための運行等は出来ないか」といった話し合いが行われた。
- ・ 「PTA活動や自治会活動への参加者が少ない・毎回同じ人ばかり」など、地域活動上の課題も挙がっており、「もっと活動の企画段階から関わってもらえることが出来ないか」「保護者会などの場を活用出来ないか」という意見が出された。
- ・ その他に、「野焼き問題」、「空港周辺の空き地問題」、「農産物直売所の活用」といった話題も出ていた。

3 班

- ・ 交通に関する問題としては、「地域内でスピードを出して走る車が多くて危ない」「見通しが悪い交差点がある」といった意見が出て、その対応として「自治会で見回り活動をする」等の意見も出された。
- ・ また、「隣近所の顔が分からない」など地域コミュニティの希薄化を懸念する意見もあり、「あいさつ運動など出来ることから始めるべき」という意見もあった。
- ・ その他に、「南部の行政が所有する空き地の活用」や「野良猫の問題」など多岐にわたる意見も出されていた。

4 おわりに

最後に岩崎先生よりコメントを頂いた。

- ・ 本日、各グループの議論を聞いていると、共通する課題も数多く出されていたと思う。
- ・ 例えば、高齢者の見守り、買物難民の問題など。一方、既に解決に向けた方向性についても触れられているところもあった。
- ・ このように、地域のなかで普段感じている問題や課題について意見を出し合い、まずは共有するということが非常に大事である。
- ・ そして、共有した課題について一緒に解決方法を考えていくことで地域のまとまりも生まれてくる。
- ・ 次回以降も活発な議論を期待したい。